

関城バイパスの開通により走行速度が10km/h向上



関城バイパスから筑波山を望む

- 県道下館三和線と結城下妻線が交差する関本中交差点においては、朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞が発生していました。
- そこで、県西地域の拠点都市を結ぶ幹線道路として計画されている筑西幹線道路の一部として、延長4.3kmのバイパスを整備しました。
- バイパスの開通後、市街地を通過していた約8,000台の交通がほぼ半分ずつに分散し、約150mの渋滞が解消しました。
- また、走行速度が10km/h近く向上し、年間約70t(森林面積7haに相当)のCO2排出量削減効果もみられました。



関本中交差点の渋滞状況

下館三和線関城バイパス

- ・事業期間:平成6～17年度
- ・整備延長:4.3km
(筑西市舟生～関本下)
- ・幅員:16m(2車線)
- ・総事業費:約36億円